

くまもと産業支援財団 起業化支援室 NEWS

第78回「くまもとベンチャーマーケット二火会」を開催しました。



令和7年2月18日（火）開催 （開催場所：熊本城ホール & オンライン）

今回は、5社のベンチャー企業によるビジネスプラン発表を行い、会場、オンライン合わせて約90名の方々にご参加登録いただきました。

【タイムテーブル】

- 14:00 受付開始
- 14:30 開会
- 14:32 挨拶
- 14:35 プレゼンテーション（13分+質疑：最大5分×5社）
- 16:15 総評

開会のあいさつ



会場の様子



公益財団法人くまもと産業支援財団
産業振興部長 藤川 孝作

代表取締役 平原 輝和 様

【事業名】 「A I を利用した診断支援システム」

【参加目的】 販路拡大、事業提携先獲得

【商品・サービスの概要】

AI 診断支援システム事業部

1. DiagnosisML

症状・所見・検査異常を AI で解析し、診断候補の提示により医師の診断をサポートするシステムです。

特徴

- ①約 7300 の疾患を登録(世界最大級の疾患数)
- ②1260 の症状・所見を登録
- ③約 40 万症例を登録したナレッジデータベースを利用 (NEJM 等)

2. TMCA Blood Analyzer

TMCA (Tumor marker comprehensive assay) により、早期癌や前臨床癌を発見します。

また基礎病態の点数表示、問診と組合せにより AI が診断候補の提示をします。

特徴

- ①複数の腫瘍マーカーを組み合わせ、かつ定量値の数式化を用いることで、癌の評価精度を向上させ、特に初期癌患者と健常人を判別
- ②40 年間の癌患者の臨床データをベースに解析
- ③DiagnosisML のナレッジデータベースを利用

将来性と拡張性

医療機器メーカー：弊社エンジンを組み込んだ新たな医療機器の開発

製薬会社：新薬の開発における解析の活用、臨床試験の効率化

医療機関：共同研究、実証実験、診断精度向上のための取り組み

IT 企業：クラウドプラットフォームの連携、データサイエンティストの育成

スタートアップ：医療 AI 分野における新たなサービス開発




株式会社オフィス未来 <https://www.officemirai.net/> 資料 2

AI診断支援ツール

DIAGNOSIS-ML

URL : <https://office-mirai.co.jp/>



患者の症状や所見を分析し、診断の候補を提案！
(医師の負担を軽減、診断の迅速化や精度向上に貢献)

Diagnosis-ML が使用する医療データとAI技術

1. 約7300の疾患を登録(世界最大級の疾患数)
2. 1260の症状・所見を登録
3. 約40万症例のナレッジデータベースを利用
4. 機械学習(Machine Learning)の技術を導入

AI診断支援システムは、医療分野において医師の診断をサポートするための技術です。最終的な診断の決定は医師が行ってください。これにより、医療の質を向上させることを目的としています。

健康で快適な生活を目指します SINCE 1996 Office Mirai Inc.

❀株式会社血栓トランスレーショナルリサーチラボ

事業部長 神窪 恭一 様

【事業名】「血液検査 SMAT を用いた血栓症発症リスク検査ビジネス」

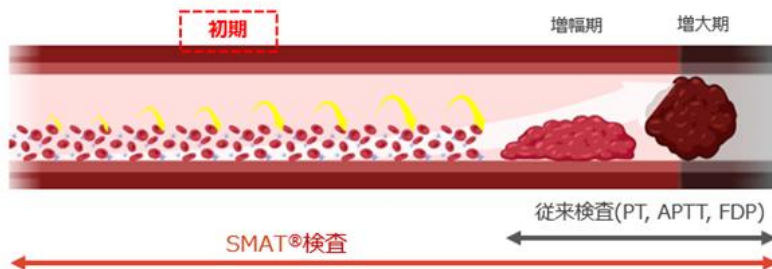
【参加目的】 販路拡大・事業提携先獲得

【商品・サービスの概要】

概要

血栓症は血の固まり（血栓）が血管を目詰まりすることで、臓器の壊死等を引き起す怖い疾患です（左図）。

SMAT®（スマット）は血栓の動き“凝固能”を可視化した検査



血栓は動脈硬化や心疾患等のある血管内で、徐々に塊が肥大し（血栓症準備段階）、ついには血管を詰めてしまいます。従来の検査は目詰まりした段階でしか検知できませんでしたが、SMAT（右写真：検査キット）では血栓症準備段階で血栓症リスクを検知することが期待されます。

SMAT の原理と製品ラインナップ

特長として血液が固まり始める初期段階を鋭敏に捉え、その後に起こりうる大きな血栓形成の流れを察知する検査です。現在はラインナップとして SMAT-TF（2021 年発売開始）、SMAT-FVIII/IX（2021 年販売開始）、SMAT-APCD および SMAT-TFPI（2022 年販売開始）の4種を研究用試薬として販売しています。

POCT 上市への条件（資金が必要となる点）

- ・体外診断検査のための臨床試験
- ・POCT 検査結果を測る測定機器開発

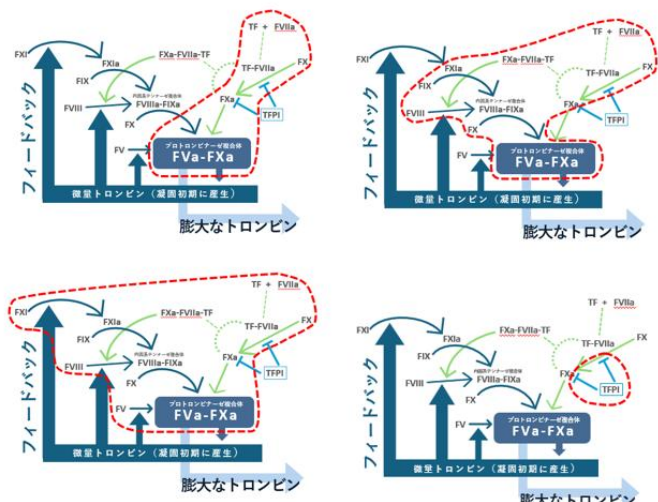
POCT で目指すビジネスモデル

1. 体外診断検査

- ・ベットサイド（在宅等）検査
- ・クリニック設置
- ・医療過疎地域での検査

2. ヘルスケア検査

- ・検診センターオプション検査
- ・災害避難所でのエコノミークラス症候群スクリーニング



❀ 株式会社GALTS Pharma

代表取締役 甲斐 広文 様

【事業名】 「アルポート症候群治療薬の開発」

【参加目的】 治療薬研究開発のための資金調達

【商品・サービスの概要】

アルポート症候群とは小児で 2 番目に多い遺伝性腎疾患であり、国内患者:約 1,200 人、米国約 60,000 人、欧州約 103,000 人、中国約 56 万人と推計されている。糸球体基底膜を構成する IV 型コラーゲン遺伝子変異により発症し、進行性の

糸球体腎炎を呈し、末期腎不全に至る(指定難病)病気である。治療法としては、腎移植や透析があるが、その後も難聴や失明などの症状が発生し、患者の QOL は低下する。

当社は、代表の甲斐が今まで進めてきたアルポート症候群に対する治療方法の研究を治療薬開発まで進め、アルポート症候群で苦しむ人々に健やかな幸せを届けることを Mission として事業活動を推進している。

また、アルポート症候群の治療薬を開発することで慢性腎疾患への適応拡大も可能と考えており、世界中の腎疾患で苦しむ人々にも健やかな幸せを届けていきたいと考えている。



❀ くまもとケアポータル 5Kday

代表 内村 勝彦 様

【事業名】 「最適な訪問看護を検索できるポータルサイト」

【参加目的】 販路拡大・事業提携先獲得

【商品・サービスの概要】

・ 訪問看護ステーションの検索：

主にケアマネージャー等が、お住まいの地域、診療科、希望の対応を選択することにより、条件に合う訪問看護ステーションを検索できる。

・ 訪問看護ステーションの紹介：

要望に応じて当事業者から訪問看護ステーションに連絡し、ケアマネージャーとステーションのマッチングを行う。

・ 訪問看護サービスにおける相談：

主にケアマネージャー等から、困難対応ケースの相談に応じ、在宅サービスへとつなげる支援を行う。



❀ 株式会社ライトライト

代表取締役 齋藤 隆太 様

【事業名】 「事業承継マッチングプラットフォーム relay (リレイ)」

【参加目的】 資金調達・販路拡大・事業提携先
獲得

【商品・サービスの概要】

これまで社名が伏せられてきた事業承継のマッチングをオープンネームで行い、自治体や商工団体さまと共に地域に新しい事業承継体験を創出しています。



＼事業承継をオープンに。／



事業承継マッチングプラットフォーム **relay**
リレイ

- ☑ 2020年2月リリース
- ☑ 日本初「オープンネーム」事業承継
- ☑ 掲載数約500+、基本合意/成約数 約100 (2024.11現在)
- ☑ 連携自治体/商工団体数 約100 (2024.11現在)

J-Startup
KYUSHU

Nikkei
Social
Business
Contest

青年版国民栄誉賞
TOYP
JAPAN
AWARD
2024

EY Entrepreneur
Of The Year™

❀ 総評

古賀マネジメント総研株式会社

代表取締役 古賀光雄 氏



第 78回「くまもとベンチャーマーケット二火会」へご参加頂きました皆様、
誠にありがとうございました。

次回のご参加も是非よろしくお願いいたします。